

# 「なごみゆたか」の特性

## 1 「なごみゆたか」のセールスポイント

- (1) 釜炒り茶および煎茶としての製茶品質は、良好な香りで旨味が強く「やぶきた」より優れ、特に、釜炒り茶にすると甘い香りとすっきりとした喉ごしが感じられます。
- (2) 耐病性は、炭疽病にやや弱、輪斑病にやや強で、耐寒性も「やぶきた」より強い
- (3) 「やぶきた」より摘採が1日遅い中生種であり、生葉収量は「やぶきた」より多収です。

## 2 育成経過

- (1) 育成地 宮崎県総合農業試験場茶業支場 (旧 農林水産省茶育種指定試験地)
- (2) 交配 1988年(S63)
- (3) 登録 2011年1月品種登録出願公表
- (4) 交配組合せ

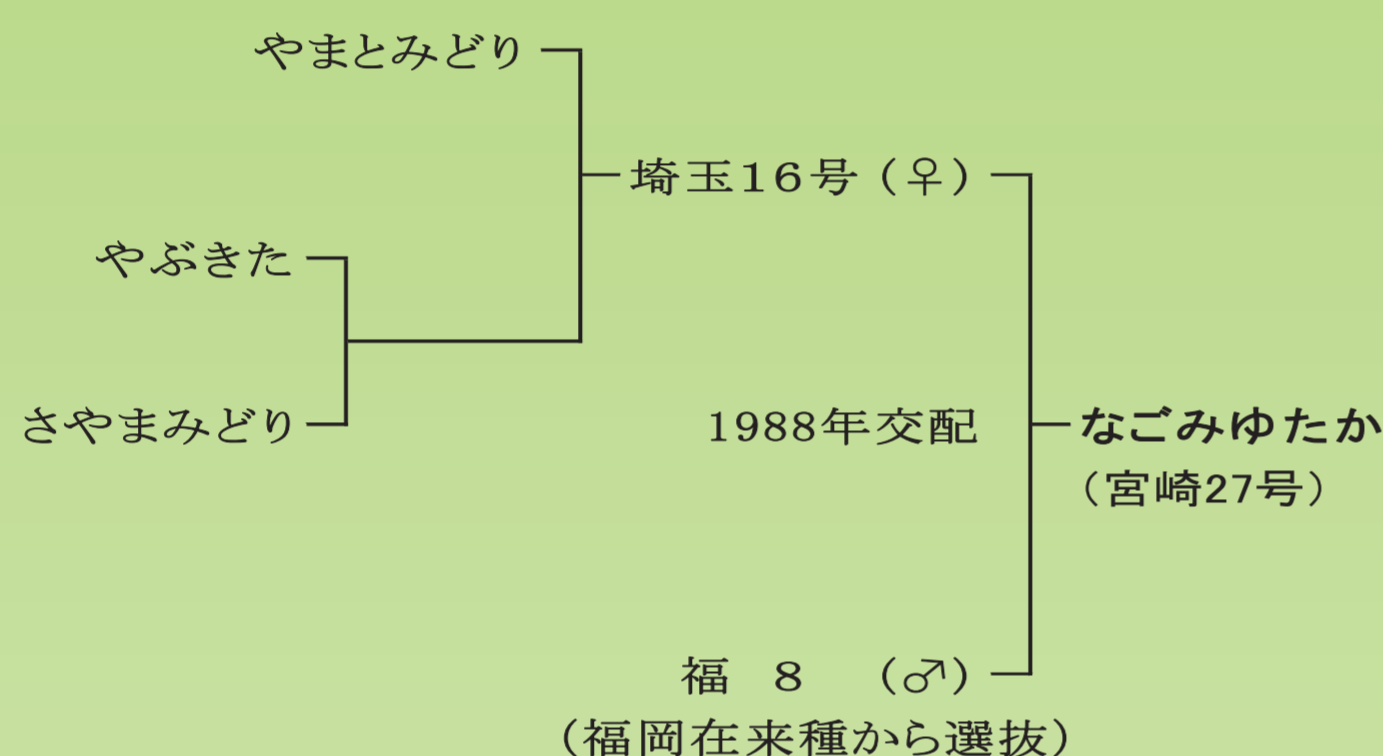


写真:「なごみゆたか」の一番茶芽

## 3 「なごみゆたか」の特徴

### (1) 形態的特性

- ①樹姿 : やや直立
- ②株張り : 大
- ③葉の形 : 楕円
- ④葉の大きさ : やや大
- ⑤葉厚 : 中
- ⑥葉の色 : 新葉緑、成葉緑

### (2) 生態的特性

- ①樹勢 : やや強
- ②挿し木発根性 : やや良
- ③一番茶萌芽期 : 「やぶきた」比+3日
- 摘採期 : 「やぶきた」比+1日

### (3) 収量特性

一二番茶ともに「やぶきた」より多収

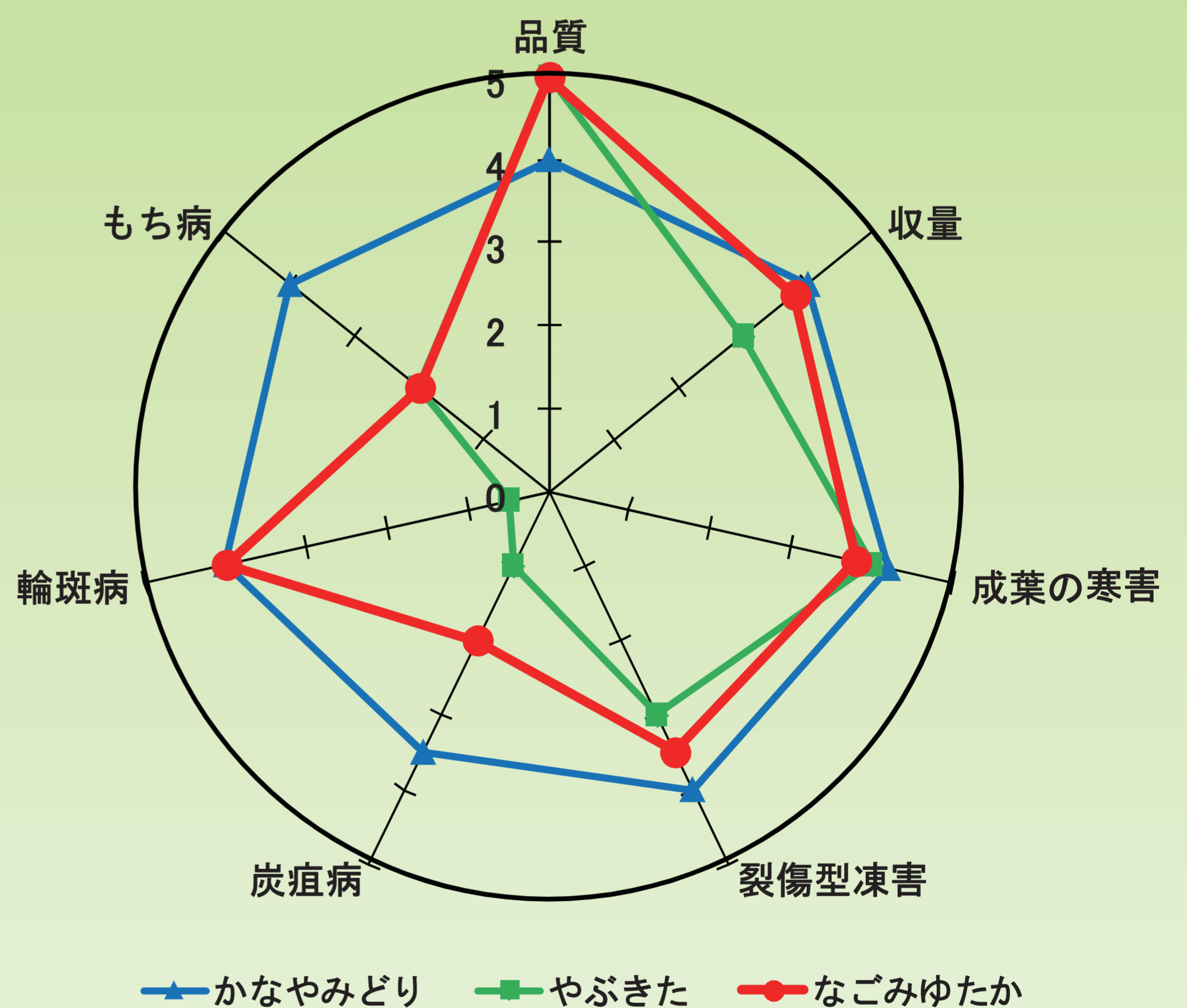


図:「なごみゆたか」の特性(良・強=5~1=弱・劣)

## 4 栽培・加工上の注意点

- (1) 中山間地域にある釜炒り茶生産地帯はもとより、全国で栽培が可能です。
- (2) 輪斑病の薬剤防除は不要です。炭疽病、もち病は、気象や栽培条件によっては発生することがあるので防除が必要です。
- (3) 萎凋させると良好な花香を発揚し、半発酵茶等への利用も可能と考えられます。